

校長だより

校長 淀 廣治

保護者の皆様へ

今年も既に2ヵ月余りが過ぎました。日の入りの時間が遅くなってきたことに気付き、時の移り変わりの正確さに改めて驚いています。梅の香りに誘われて近所の散歩にも心が弾みます。卒業式・入学式を迎えるにあたり人との別れと出会いに悲しみや期待が入り混じった気持ちです。本当に時の経つのは早いですね。特に3年生の保護者の皆様にとっては、お子様の卒業と同時に四條畷学園をご卒業される方もおられると思います。中には幼稚園・小学校・中学校と12年間、四條畷学園にお子様を通わせて下さった方もおられると思います。本当に有難うございました。卒業生は同窓生になり、保護者の方は後援会員として、これからも後輩の育成と学校の繁栄にお力をお貸しくさせていただきますよう宜しくお願いいたします。



先生たちは今

一年二年の社会見学など大きな行事が全て終わりました。先生たちも一年間を振り返り、自己反省し、生徒と同じように成長しようとしています。学校評価アンケートや授業評価アンケートなどで教育内容や指導内容を検証し、さらに良い教育が出来るように頑張っています。保護者の皆様の我々教員への温かな励ましや激励をありがたく思っています。生徒と先生と保護者の皆様が協力して、より良い学校生活を目指して一年間を締めくくりたいと思っています。三年生の先生たちは私立高校の合格発表と公立高校入試、そして卒業式と大忙しです。卒業式の準備をしていると、可愛い生徒達との楽しい思い出が頭を過ぎり、胸を締め付けられるような切ない感情がわいてきます。特に担任の先生の思ひとしおいは一入だと思ひとしおいます。卒業式は教師が味わえる最高の瞬間です。生徒にとっては一生に一度の事です。最高の思いで、卒業させてあげたいという三年生の先生たちの強い想いが伝わってきました。

新入生登校

2月15日(土)は新入生登校日でした。新入生は先生から入学までの心構えと宿題をもらって嬉しそうでした。新入生のお母さん方は色々な諸注意を真剣に聞いておられました。私はその様子を見て、お子様の中学生生活を楽しく充実したものにしなればと気持ちの引き締まる思いを新たにしました。一年生はもうすぐ先輩です。先輩としての自覚と心構えは出来ていますか。二年生はもうすぐ最上級生ですね。新入生や2年生を引っ張って行ってくださいね。



自覚は確実に自分を成長させます。新入生の保護者の皆さんや児童の皆さんが本校を選んだ理由の中に「あんなすばらしい生徒のいる学校に入学させたい」「あんな素敵な先輩になりたい」の気持ちがあったと思います。在校生の皆さんには目標とされる、あこがれられるような存在であることに自覚を持って一層向上してくれることを期待しています。

6年一貫コース 卒業研究論文のプレゼンテーション

1人1人の個性のある素晴らしいプレゼンテーションでした。

私は中学生がここまでしっかりと発表でき、鋭い質問にも答えられるようになっていくことに感激しました。このプレゼンテーションは6年一貫コースの3年生が1人1人、半年前から構想を練り、論文にふさわしい題材を絞り込みデータの収集を行ってきました。そして、論文にまとめ上げ、プレゼンができるまで練習してきたものです。

発想の豊かさと切り口の鋭さには驚かされました。日頃の自分プロジェクトなどの研究や実践が

集約

された結果だと思えます。ここで培われた能力は将来社会に出ると、想像以上の高い評価を受け、彼らの持っている知識や経験をいかんなく発揮することになると確信します。



校長挨拶 こんにちは 皆さんが半年以上もかけて作り上げてきた、卒業論文の発表の時です。

先生は中学生でこのような発表の機会があること自体が、羨ましいです。

卒業論文の作成と発表は生徒達にとっては、**若木が大地にしっかりと根を張り、嵐にも負けない大木に育つ土台作り**とも言えるものです。

この発表で見えるところは、ほんの一部でしかありません。その努力は発想の絞り込みから調査、検証、論文作成、プレゼン準備、練習など、その**圧倒的な努力**は間違いなく、これから伸びていく**大きな財産**になります。努力は嘘をつきません。頑張ってください。

高校の入学試験へ向けての激励会

私は次のように激励しました。

『彼も人なり，吾も人なり』他の受験生を見てプレッシャーに感じることは相手も同じです。平常心を持って試験に臨んでください。

四條畷学園中学校の生徒は「入試に強い」という伝統があります。何故か、それは、**精神力の差**です。**心の強さの差**です。皆さんにはこの四條畷学園中学校の生徒であるという**誇り**があります。その誇りや精神力の強さは、勉強はもちろん、**学校行事やクラブ活動を本気で頑張ってきたから**こそ身についたものです。辛い受験勉強をみんなで支え合って頑張ってきた**努力が誇りと強い精神力・心の強さ**を創り出したのです。学力・精神力共に合格できる力を十分に身につけたのです。落ちるわけがありません。最後は精神力の差です。**あきらめない強靱な心の差**です。自信をもって安心して入試に臨んでください。

私立学校名	合格者数	
四條畷学園	専 64 名 併 11 名 (6年一貫コース 35 名含)	
灘	1 名	清風南海 2 名
大阪星光学院	1 名	清風 5 名
東大寺学園	1 名	大阪桐蔭 1 4 名
洛南	2 名	明星 2 名
西大和学園	4 名	近畿大学附属 1 3 名
和歌山開智	1 名	東海大学付属仰星 6 名
開明	2 名	桃山学院 1 名
愛光学園	1 名	関西大学系 7 名
帝塚山	6 名	同志社・同志社女子 6 名
京都女子	9 名	立命館 2 名
大阪女学院	1 名	
四天王寺	1 名	上記以外の私立高校 40 名

左表は今年の私立高校の合格者数です。

公立前期入試の発表では北野高校・大手前高校・四條畷高校の文理学科に合格しています。教育大平野や清水谷などにも合格しています。

公立後期の入試の発表は3月19日です。多くの合格者が出ることを期待しています。

最終の合格者数はそれ以後に公表したいと思っています。

第2学年 社会見学

2014年2月10日 月曜日

各クラスで生徒達が行き先を検討し決めました。見学先との打ち合わせも生徒がしたクラスもあると聞いています。実際の企業や裁判所など将来の職業選択のきっかけになるかも知れませんね。

- A組…『造幣局』 『京都地方裁判所』
- B組…『大阪ヤクルト工場』 『NHK 大阪放送局』
- C組…『奈良地方裁判所』 『奈良寺院散策(興福寺)』
- D組…『コクヨ』 『大阪地方裁判所』
- S H組 『大阪府警察本部』 『インスタントラーメン発明記念館』



みんなでしっかり行き先を検討しています。

A組 『造幣局』 『京都地方裁判所』



B組 『大阪ヤクルト工場』 『NHK 大阪放送局』



C組 『奈良地方裁判所』 『奈良寺院散策(興福寺)』



D組 『コクヨ』 『大阪地方裁判所』



SH組 『大阪府警察本部』 『インスタントラーメン発明記念館』



第1学年 取材リレーリング

今回の社会見学は、グループによる大阪市営地下鉄を利用したオリエンテーリングです。HRで班毎に分かれて自主的に計画を練り、自分たちが利用する路線や見学するポイントなどを決定します。ポイントには由緒ある神社仏閣、歴史的に意味のある石碑や建物が多く含まれており、オリエンテーリングの形式をとった社会見学となっています。また、併せて公共交通機関での乗車マナーも学習します。

平成26年2月10日(月) 雨天決行

集合場所： 午前8時30分 京橋駅 京阪モール前の広場 (JR環状線と京阪電車の間の屋根のある場所)

活動場所： 大阪市営地下鉄全線

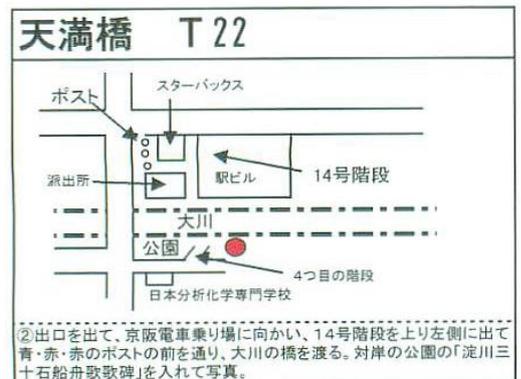
費用： 1,500円 (学年費より)

地下鉄1日乗車券、JR京橋駅～スタート駅(クラス別)までの交通費、
班での持ち物…カメラ、ポイントマップの入った封筒、証明書(地下鉄OL活動中)

行程： 京橋集合⇒スタート駅(クラス別) ⇒班別行動⇒京橋駅ゴール(15:00～15:30)

⇒学校にて班別終礼後解散

班でどのルートでどのポイントを取るのか計画しています。



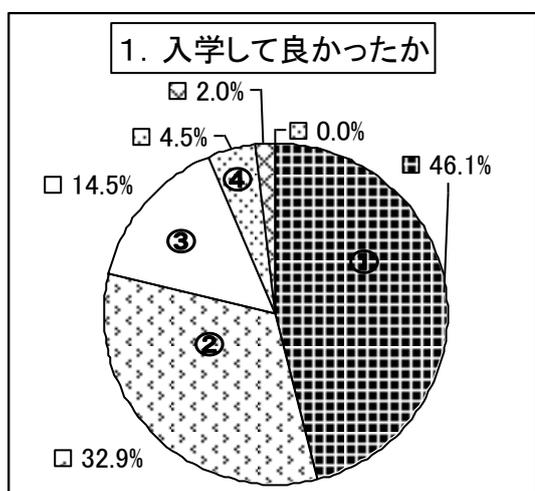
学校評価アンケート結果

	入学して良かった	授業が分かりやすい	設備は良いか	あいさつ運動	校則は守っている	いじめの対応は適切	友人関係は良い	行事は楽しいか	クラブは楽しいか	マナー指導は良いか
目標値	4.3	4.3	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
今年(保護者)	4.2 (4.4)	3.8 (3.8)	4.0 (4.3)	3.5	3.5 (4.3)	3.6 (3.7)	4.1 (4.2)	4.3	4.1	3.9 (4.0)
去年(保護者)	4.2 (4.4)	3.7 (3.7)	4.1 (4.4)	3.5	3.4 (4.3)	3.6 (3.8)	4.2 (4.2)	4.2	4.0	3.7 (4.1)
一昨年	4.0	3.7	3.9	3.3	3.1	3.7	3.6	3.5	3.6	3.8

各項目別に目標値を決めて達成に努力しています。一昨年から見ると今年は上昇していますが、昨年度と比べると下がっている項目もありました。

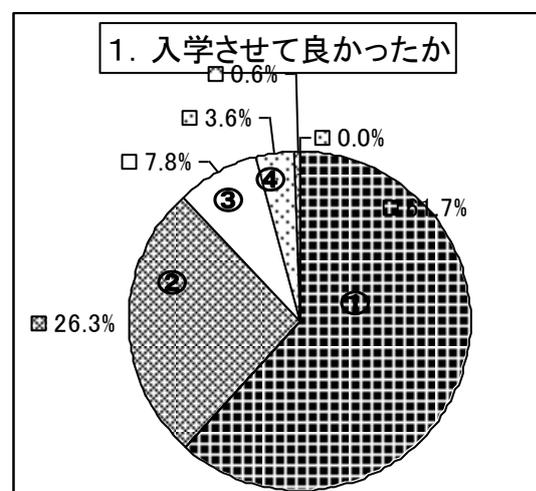
特に「いじめの対応は適切か」の項目は達成度が低く、生徒達の思いを教師が受け止め切れていないように思われます。重点項目としてより一層取り組みたいと思います。

〔保護者〕



- ① 大変思う
- ② どちらかと言えば思う
- ③ 普通
- ④ あまり思わない
- ⑤ まったく思わない
- ⑥ 無回答

保護者の評価は高いですが、生徒の6.5%の人が否定的(④、⑤)なのが残念です。全ての生徒が満足できる学校にしたいです。



6年一貫コース修学旅行

6年一貫コースは修学旅行でグアムに行ってきました。2月13日(木)に全員無事元気で帰国しました。日本は大雪で温度差が大きかったようです。体調に気を付けてくださいね。





PTA役員会・参観・部総会最後のPTA役員会とPTA部総会を行いました。

議事は次年度の会長・副会長を依頼する、**指名委員の選出**でした。例年、PTA五役の中から選出されています。本年度もPTA五役の中から副会長の和田 恵理子様と企画委員長のペリン 清美様の2名が役員会で選出され、PTA部総会で承認されましたのでご報告いたします。

文化祭での**会計報告**がなされました。(バザーの売上金とゲームなどの支出金他)

PTA活動の一年間を振り返っての報告と反省をしました。

学校から**学校評価アンケート**よりのご意見を報告しました。

- 制服着用の規則に関して○キャリア教育の充実に関して○早朝テストのあり方
- 先生の指導方針に関してなど多数の非常に参考になるご意見をいただきました。

いずれも良い中学校を目指していただいた有り難いご意見です。ありがとうございました。ご指摘は今までも何度も会議に挙がってきた議事です。子供の将来を見据えて可能な限り良い環境の下で教育活動をおこなうために会議を持ち、努力したいと思っています。

将来子供たちが社会に出ると、色々な場面で不満に思ったり、我慢しなければならない規則や慣習などに会うこととなります。私は校則には我慢する能力を養う意味合いもあると考えています。今、納得できないからやらない、したくないからしないなど自分の中で慣習や規則を消化できずに不平不満がたまり、社会に適応できずに会社を辞めてしまうことのないように育てたいのです。もちろん疑問や合理的な感性などから素晴らしい発想が生まれ改革改善がおこなわれていきます。学校サイドからの見方ではなく、生徒や保護者の皆様からの目線でのご意見は本当にありがたいです。これからもご意見宜しくお願い致します。

校長挨拶 私立の**高校入試結果の報告**をしました。

すごく良い成績でした。本当に良く頑張ったと思います。しかし、生徒の頑張りだけではここまで伸びません。やはり、**保護者の方の力**のおかげだと思います。

子供を**信頼**し、良いところを**認めて褒めてあげる**、そして**自信**をつけさせてあげる。この**親力**がお子様たちに力を与えたのだと思っています。学力や高校入試の結果は子供の能力の**ほんの一部**でしかありません。その他の**見えない**ところでの**子供の成長**は計り知れないほど大きいと思います。さすが四條畷学園中学校の保護者は違うな、素晴らしいと思います。

ちょっと一言

「吐」と「叶」の違い
吐く…誰でも口からマイナスなこともプラスのことも吐く。
だから「吐」と言う字は口と十と一で出来ている。
マイナスのことを言わなくなると一が消えて「叶」と言う字なる。

なるほど

漢字って面白いですね

全体集会

卒業する3年生に関わる表彰をおこないました

漢字50題テスト 年間満点者 3B 利 萌夏 3D 宮永 梨央
〔2年連続〕

数学検定（実用数学技能検定）

2級 平川 遼 準2級 4名 3級 14名

読書感想文コンクール ベネッセコーポレーション賞 3A 吉野 聖奈

茶道部学習証書授与 9名に授与しました。

華道部学習証書授与 4名に授与しました。

平成25年度 大阪私学大会 女子総合3位を受賞しました。

前日表彰式



幼稚園・小学校・中学校と四條畷学園に在学された38名の生徒を川崎理事長より表彰していただきました。幼稚園から12年間、本学園に通学され本当に有難うございました。その中の多くの方が学園高校に進学してくれます。有り難い人です。実は、私も幼稚園から中学校まで四條畷学園出身です。その当時高校は女子高でしたので高校へは行けませんでした。当然私の子供も学園出身です。家庭的な温かさ与人を思いやる校風は今も昔も変わってはいません。



四條畷学園小学校・中学校の9ヶ年皆勤の生徒を表彰いたしました。スゴイと思います。いつも完全な健康体の日ばかりではなかったと思います。しんどくても辛くても1日も休まず遅刻もせず9年間頑張る事は簡単に出来るものではありません。本人も偉いですが、ご家庭での健康管理やメンタルの管理も素晴らしいと思います。中学校3ヶ年皆勤の生徒36名を表彰しました。



生徒会活動やクラブ活動で功労の在った生徒・よく努力した生徒を表彰しました。また学校代表として功労のあった生徒を表彰しました。

自治功労賞 宮永 梨央 **クラブ功労賞** 牧野 瑠大 山田虎太郎 里中 香苗
〔生徒会三期以上〕 〔大阪大会優勝以上〕 可野 安純 福元 果葉 中野 真弓

体育功労賞 岡田 龍弥 植村 遼

文化功労賞 北田 真穂 宮永 梨央 志波 菜々美 山田 遥 松本 眞實

自治努力賞 **クラブ努力賞** **体育努力賞** **文化努力賞** を表彰いたしました

前日表彰の式辞

皆さんはこの3年、本当に良く頑張ったと思います。3年生では最高学年として、勉強やクラブ活動や行事に良く頑張りました。勉強の頑張りは勿論ですが、クラブ活動では後輩を良くまとめ、人として目標とされるような素晴らしい先輩であったと思います。

体育会や文化祭、耐寒OLなどでは、勉強と行事との気持ちの切り替えを上手に行い、1年、2年生を優しく指導し、引っ張ってくれました。本校では人間形成のために、他校では見られないほど、多くの行事を行っています。今年は皆さんの頑張りのおかげで全ての行事を成功させることが出来たと思っています。有難うございました。四條畷学園中学校で学んだ皆さんには、**学んだ力**を発揮できる『**本当の力**』が身についています。

テストでは点数は採れるが、**応用**ができない社会人が増えてきています。知識は豊富だが誰かに**指示**されないと何もできない社会人が増えていきます。また、思うように行かない、障害物があると乗り越えようとしなくて避けてしまう人、**我慢**が出来ない社会人が増えていきます。しかし、皆さんは違います。自分の目標を持ち、自分で考えて、強い自分の意思で行動できます。それが四條畷学園中学校の『**伝統の力**』です。苦境に立った時や失敗した時、大きな壁にぶつかった時は**チャンス**です。自分自身を**高める機会**が与えられたのです。**チャンスなのです**。

乗り越えなければ、前に進めないのなら、乗り越えればよいだけです。失敗を恐れずに立ち向かい、果敢に挑戦するだけです。それが出来るのが四條畷学園中学校の生徒です。高校入試で傷ついた人もいると思

いますが、試練は人を大きくします。辛い経験を乗り越えることで大きく成長できます。

失敗から学び、立ち直り、次に進める人が社会で成功するのです。失敗をしていない成功者は1人もいません。頑張ってください。今年ソチ冬季オリンピックが開催されました。私は選手たちの活躍に心を打たれました。さすが世界のアスリートです。競技に優れているだけではなく、人としても尊敬できる考え方や生き方をしていると感心しました。多くの試練を乗り越えなければオリンピックに出場することもできません。彼らの挑戦する勇氣、諦めない精神力など多くのことを学ぶことが出来ました。

大昔に東京オリンピックが開催されたとき、先生は中学3年生でした。クラスで担任の先生と内緒で授業中にテレビ観戦しました。その時は選手たちの努力の凄さに圧倒された記憶があります。六年後の東京オリンピック・パラリンピックではさらにどんな素晴らしい若者が出てくるのか楽しみにしています。その時は授業中でもテレビ観戦が出来るようにしておきたいと思っています。

平和の祭典であるオリンピックでしたが、少し残念なことも在りました。選手を応援するのは良いのですが、失敗した自国の選手を非難したり、他の国の選手を非難したり、誹謗中傷する心の持ちようはオリンピック精神を侮辱する行為であり、非常に残念に思いました。スポーツを通して心を開き、友情を育む祭典なのに、そのような行動をするメディアや人のいる国があることが悲しく残念に思います。私は自分の意に沿わない考えをする人や国を非難したり、攻撃をするような**教育**は、何世代にもわたり争いの種を後世に残すことに成ります。非常に残念なことです。

私は**人類みな地球人**だと思っています。未来に向けて素晴らしい地球を作る教育、素晴らしい地球人を作る教育が大切だと思っています。平和な社会を維持するためには、戦いを起こす何十倍、何百倍もの努力と信念とそして準備が必要です。今、その自覚と覚悟が求められている時代なのかも知れません。一度しかない自分の人生です。悔いのない人生にしてください。そして、これからの皆様の人生が、地球にとって地球人にとって素晴らしいものになることを期待しています。

第67回 卒業式 式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この**希望**溢れる春の良き日に、多数のご来賓の皆様方、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、第67回 四條畷学園中学校の卒業式を盛大に挙げてまいりましたこと、心よりお礼申し上げます。183名の卒業生の皆さんは、本学園の**建学の精神**である、『**報恩・感謝**』のもと、一人ひとりがたゆまざる努力をし、学業・行事・クラブ活動などに真摯に取り組む、素晴らしい成果を残してくれました。四條畷学園中学校の**伝統と校風**を高め、輝かしい一ページを本校の歴史に書き加えてくれました。皆さんの業績は、在校生がしっかりと受け継ぎ、更に発展させてくれることと信じています。

皆さんは「**未来に羽ばたく無限の可能性**」を持っています。その可能性を実現するために次の言葉を送ります。

仏教には「**思念が業をつくる**」という言葉があります。こうなりたいと念ずれば、念じ続ければ、思い続けて努力し続ければ、きっと願いはかなうと言う意味です。人生は心に描いたとおりになる、その「**思い**」が強ければ強いほど現実となって現れてきます。しかしその「**思い**」が利己的なものであれば成りません。自分さえ良ければ、自分さえ楽しければ、などと私利私欲の心を持つと人生は悪い方向に流れていきます。今、利己主義ではなく**利他主義**という言葉が見直されています。利他主義とは自分の利益のためだけではなく、自分以外の人々の利益や幸せを考えて行動すれば、本当の意味で、自分も幸せになれると言う意味です。これは京セラやKDDIの創設者で名誉会長の稲盛和夫さんの経営哲学の根底を成す考え方です。稲盛さんはたった二年で破産した日本航空を立ち直らせたことで世界でも有名な企業家です。目先の利益ばかりを考えるのではなく、みんなの役に立つことに力を尽くすことが大切だと言うことです。「**努力を積み重ねれば平凡は非凡に変わる**」という言葉どおり、皆さんの潜在能力をONにするためには、努力を一步一步積み重ねるしかありません。私はソチオリンピックで、アスリートたちの全身全霊を傾けた努力の結晶を目にして、非常に感動しました。選手たちの目標に対しての**思いの強さ**と**揺ぎ無い信念**、**諦めない強い心に勇氣**をもらいました。そして、インタビューでは選手たちは自分を支えてくれた多くの人たちへの**感謝の気持ち**語ってくれました。心を洗われる思いがしました。メダルを取った人もメダルには手が届かなかった人も本当に輝いていました、素晴らしかったです。十代の若者が大活躍していますが、41歳の**葛西選手**のジャンプでの銀メダルには驚きました。



「**限界を作っているのは君自身だよ**」という言葉の意味が分かったような気がします。また、フィギュアスケートの**浅田真央**選手のフリーでの起死回生の完璧な演技では涙が止まりませんでした。不屈の魂が演技に移ったように感じられました。そして彼女の「**どんなに辛くても浅田真央から逃げることはできない。**」と言う言葉に想像を絶する覚悟を感じました。アスリート達に「人としての生き方、努力し続ける事の素晴らしさ」を改めて気づかされました。ありがとうの気持ちでいっぱいです。

今年、科学の分野では若い日本人女性によって凄い発見がされました。京都大学 山中先生の iPS 細胞に続けとばかりに、**理化学研究所**の小保方晴子ユニットリーダーが新しい**万能細胞「STAP細胞」**を発見しました。「動物細胞でも外的刺激で初期化される」と言う、今までの学説の常識を覆す発見です。山中所長はSTAP細胞が登場した時の驚きを、野球に例えて次のように表現しています。「iPSは小学1年生なのに遠投で100メートル投げたすごいやつ。そんなすごいのは二度と出てこないと思っていたら、時速100キロの剛球を投げる小学1年生が現れた。まだおるんや、という感じですね」と言っています。これらの発見はまだ小1です。これから人類の未来を変える、進化していく大発見です。昨年春、小保方さんが世界的に権威ある科学誌ネイチャーに投稿した際は、「過去何百年の生物細胞学の歴史を愚弄している」と酷評され、掲載を却下されてしまい、周りの研究者からは「実験結果が間違いだ」と言われ、くやしくて、泣き明かした夜は数知れないと言っています。「何度もやめようと思ったけれど、あと1日だけ頑張ろう、STAP細胞は必ず人の役に立つ技術だ」との強い信念をもって膨大な実験を行い、やっと今回評価され認められて掲載にこぎつけました。5年越しの努力で、ついに立証にこぎつけました。「**思念が業をつくる**」という言葉通り、その思いの強さは「お風呂のときもデートのときでも四六時中、研究のことを考えている」ほどだったといえます。「10年後、100年後の人類社会への貢献を目指して、一步一步進みたい」と決意を話されていました。まさしく小保方さんの**思念の強さ**と**利他主義**の思想が多くの協力者と共に**夢の入り口**まで連れて行ってくれたのだと思います。卒業生の皆さん、志を大きく持ってください。自分を信じ、自分の夢を信じ、未来を信じることから全ては始まります。失敗を恐れず、夢と希望をもって、果敢に挑戦すれば、その努力は成果となり、自(おのず)と道は開かれます。自分を信じ、未来に向かって力強く歩んでいかれるよう期待しています。頑張ってください。

皆さんは今日、四條畷学園中学校を**卒業**されます。親に保護されていた甘えから離れ、精神的に自立し、出発する時です。お母さんは**命がけ**であなたを産んでくれました。お父さんを始め、家族は自分の**命を捨てても**惜しくない覚悟であなたを育ててくれました。あなたが病気で苦しんでいたとき、その苦しみを我が身に変えてほしいと願い、寝ないで看病してくれました。小さい頃から、君たちの成長を祈り、見守り、支えてきました。自分のことより君たちの幸せを願い続けてこられたのは後ろに座っておられる、**お父さんやお母さん**です。君たちの笑顔を**喜び**、ふさぎ込んでいたら**心を痛め**、ひたすら君たちの成長を願い、この日を心待ちにしてきたのです。感謝の気持ちを伝えてください。さて、**保護者の皆様**、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。考えてみますと、親子と一緒に生活する期間は、もうそれほど長くありません。自分の世界ができて、自立を始めた我が子の成長に、一抹の寂しさを覚えつつも、思わず目を細めていらっしゃるのではないのでしょうか。子供の進む道には、大小様々な**試練**が待ち受けていると思います。子供がそんな試練に果敢に立ち向かうとき、子供の**幸せを願う親心**は、大きな励ましとなります。私も**教職員**も、生徒一人ひとりの幸せを願いながら、**渾身の力**をこめてお子様の教育に携わって参りました。しかし、御期待に添えない点多々あったのではないかと感じております。今後も、保護者の皆様と共に温かく見守って参りたいと思います。これまでの本校の教育活動に対し、物心両面からご協力・ご支援頂きましたことに、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

卒業生の皆さん、いよいよお別れの時が来ました。^{こころざし}志を高く持ち、何事にも臆することなく自分の人生を邁進して頂きたい。そして、四條畷学園中学校を愛し、卒業生であることに誇りを持って生きてください。



PTA 総会長の小森様・後援会長の田中様・同窓会長の岡本様から花束が贈られました。在校生の送辞は素晴らしかったです。卒業生の素晴らしい答辞と歌声には感動し、泣きそうになりました。

PTA 副会長の和田様より保護者謝辞をいただきました。PTA の皆様には私ども教員が感謝しております。「クラブの後輩たちともお別れです」



て

孫



祖父母の孫育
習慣

育ては楽しむ感覚が

ちょうどいい。「かわいい孫だから」「息子や娘を手助けしないと」といった逸る気持ちや義務感ではできるだけセーブして無理なく、気合を入れすぎず、接していて「楽しい」と思える付き合いがちょうどいい。

○無理なく
の誕生日・運動
が一緒に楽し
例えばお彼岸
の繋がりや大

○祖父母と
力」の育成です。
う」など社会性
子育ての経験
せん。



「楽しい」と思えるのが、三世代でのイベントです。孫会・入学式・卒業式・お盆やお正月・祝日などに三世代めるイベントを計画してみてもいいですか。であれば「ご先祖様を大切にすること」などを通して命切さを感じさせることも出来ます。

して孫に伝えてほしいことは「見えない学力」＝「人間「人の話をしっかり聞く」「自分の考えをはっきりと言や公共心・規範意識・忍耐力・集中力など伝えることがの長い、また社会経験の豊かな祖父母の役割かもしれま

客観的な立場にいる祖父母ならでは孫の失敗も寛大に受容でき、無責任に孫をほめ、自信を与え前へ踏み出す力を与えられるのかもしれませんが。両親は「学力もしっかりつけない」と思い悩み「しつけ」が厳しくなりがちです。当然パパやママからは「あまりあまやかさないでね」の言葉が出てきます。祖父母の役割は孫の話聞いてあげ優しく受け止める事だと思います。「老婆心」という言葉があるように細々と世話を焼こうとすると孫にとっては「過保護」であり「過干渉」に成ってしまいます。両親からも批判を受ける事になります。肝心な場所ではパパやママの言う事を孫が聞くようにしておかなければなりません。

孫が幼い時には社会性やマナーを伝えてあげるこ仕方・お辞儀の仕方・箸の持ち方・きちんと片づける・言葉遣い・お手伝い・思いやりの心など本来両親祖父母の言葉の方が効果的だったりするものです。核家族化し、日本古来の行事や慣習が継続しにくく季のある日本のよさを伝承してみてもいいですが、見る目は案外厳しいものです。他のるとか…どうしても比較しがちです。その点人生経験の長い祖父母は良いところを見つけられます。孫自慢が出来るのです。外だけではなく親の前でも孫自慢をすることで親も孫も自信が付き



とも大切です。挨拶の事・脱いだ靴は揃え親がすべきことでも、

なっています。また「四よつか。親は子供がか子供と比べて劣ってい



「頑張れば出来るんだと」思うようになっていきます。孫の中に自信を芽生えさせることも祖父母の役目かもしれませんね。但し、**孫の風下には立たない**ことです。

○甘えさせることと甘やかすこととは大きな違いがあります。学力がアップすれば何でもOKの姿勢は甘やかすことになってしまいます。

小さな王様、御姫様に育てることは将来孫が困ることになります。親を敬うことやお手伝いや片付けなど家族としてしなければいけないことはさせる。

嘘をつかない、弱いものいじめをしないなど人として道、道徳教育に反することには毅然として説明し、たしなめる祖父母であって欲しいものです。

ちょっと一言「名言」

夢は逃げない
逃げるのはいつも自分

へこむことが反省ではない
次に向けての行動が反省です

耳が痛いです。自分に言われているようです。

「子どもが育つ魔法の言葉」より ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス

詩「子は親の鏡」 わかっていることですが、なかなか実行できないことでもあります。少しずつ再確認していきたくと思っています。①～③

①けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

- ・ 不満だらけの親の気持ち、小さな子どもは、こういう親の態度にとっても敏感で、傷つきやすいものです。
- ・ 子どもは親を怒らせたくて何かをしでかすわけではありません。できるだけ子どもに歩み寄りください。
- ・ 叱る前に言葉を選ぶことです。いつまでも叱るのは、逆効果です。大切なのは、子どもが失敗から学べるように導くことです。
- ・ 子どもに小言を言い、やることなすことにいちいち文句をつけるのも、子どもの意欲を挫きます。「きっとできるはずだ」という肯定的な言い方をすることです。子どもに、配偶者の悪口を言うのも、よくないことだとわたしは思います。

②とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

- ・ 子どもは、敵意や憎しみのなかで育つと、精神が不安定になります。不安から逃れるために、乱暴になる子もいます。自分自身が強くなることで、不安に打ち勝とうとするのです。他人との対立や葛藤を極度に恐れ、自分の殻に閉じこもってしまう子もいます。
- ・ 子どもというものは、親が隠そうとしても、親の気持ちを感じとるものです。ですから、子どもの前では気持ちに嘘をつかないことが一番いいのです。
- ・ わたしたち親は、子どもにとっての完璧な手本になる必要はないのです。感情的になってしまったら、それを認め、子どもに謝ることができれば、それでよいのです。子どもは、そんな親の姿から大切なことを学ぶに違いありません。お父さんとお母さんも、感情的にならないよう常に努力しているのだということ。

③誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

- 子どもを誉めることは、親の大切な愛情表現の一つです。子どもは、親のことばに励まされて、自分は認められ愛されているのだと感じるのです。親の誉め言葉は、子どもの心の栄養となります。子どもの健全な自我形成には欠かすことができません。子どもが成し遂げたことだけでなく、その子の意欲も誉めましょう。
- 子どもちょっとした行いを誉めてあげることで、子どもは、自分が認められたのだと嬉しく感じます。そして、ますます長所を伸ばすことができるようになります。子どもを信じ、その長所が伸びるようにすれば、子どもは、本当に親の願うような子に育ってゆくものなのです。
- 自分で自分を好きになることは、とても大切なことです。自分自身を愛することのできる心の安定した人間に、子どもが育ってほしいものです。健全な自己愛は、生きるうえでのエネルギー源となります。その積み重ねは幼い頃から始まっています。十分なスキンシップをしてあげましょう。子どもには親の愛情がぜひとも必要なのです。